

第43期

営 業 報 告 書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

(証券コード:4696)

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第43期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、経済社会全般の発展や、結婚式に対するお客様の意識・ニーズの変化にともなって、付加価値の高い商品・サービスを開発して参りました。今後も、「すべてはお客様のために」をスローガンに掲げ、「すてきな生活文化」を提案していくことにより、お客様に感動や喜びという心の豊かさをご提供することが、当社グループの使命・役割であると考えております。

また、事業の発展と経営の質的向上に注力していくことが重要であると認識し、平成19年3月に中期事業計画を策定いたしました。今後は、この方針に加え、内部統制システムの機能強化を図るとともに、透明性の高い事業活動を行うことにより、お客様の期待に応え、持続的な成長と安定的な収益を実現し、当社グループの企業価値向上を図って参りますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月

代表取締役社長 **渡部 隆夫**

目次

| | | | |
|-------------------------|----|---------------|----|
| □ ごあいさつ | 1 | □ 財務諸表の概要（連結） | 13 |
| □ 経営基本理念 | 2 | □ 財務諸表の概要（単体） | 15 |
| □ 特集 ワタベウェディングの「中期事業計画」 | 3 | □ グループ企業集団 | 16 |
| □ 特集 ワタベウェディングのCSR戦略 | 6 | □ 会社概要 | 17 |
| □ 事業紹介 | 7 | □ 株式情報 | 17 |
| □ トピックス | 9 | □ 株主インフォメーション | 18 |
| □ 営業の概況（連結） | 11 | | |

ワタベウェディングは、
「世界最高のブライダル企業を目指します」

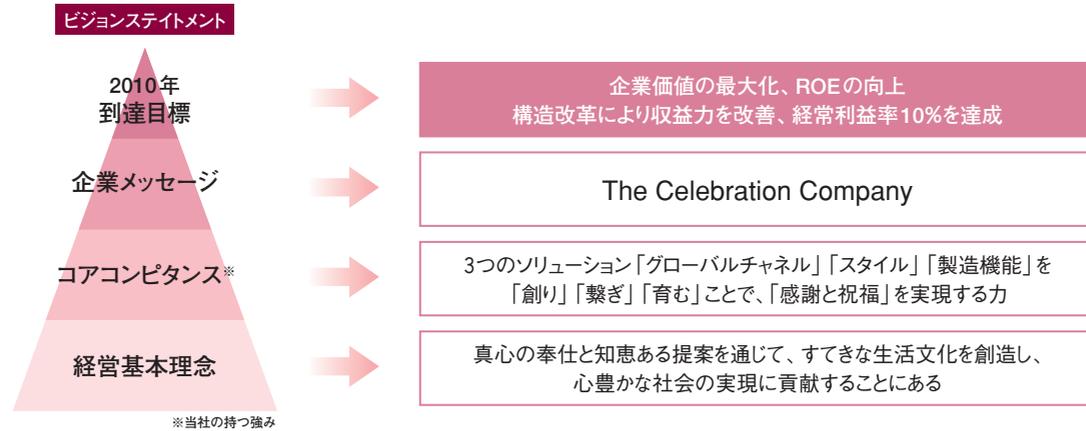
経営基本理念

わたくしたちの目的は、真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、心豊かな社会の実現に
貢献することにある。

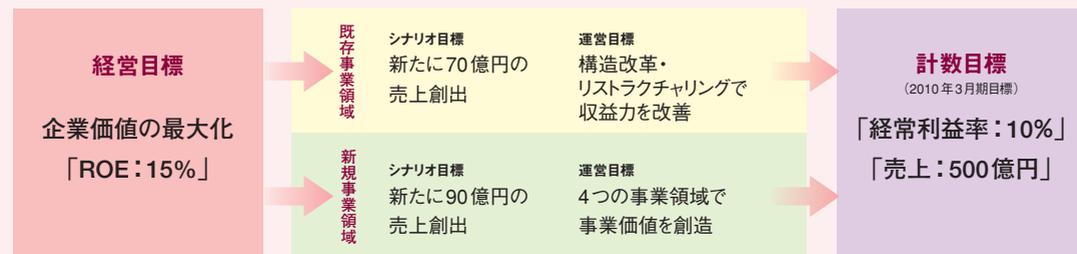


中期事業計画を発表 WATABE VISION 2010

当社では、更なる成長を目指し、中期事業計画「WATABE VISION 2010」を策定しました。新事業計画は、日本市場においては、少子化・晩婚化によるウェディングマーケットの縮小、競合他社の追い上げという背景を認識した上で、中期的に当社が成果を出すために、4つの事業領域にフォーカスし、とるべき戦略を明確にしました。



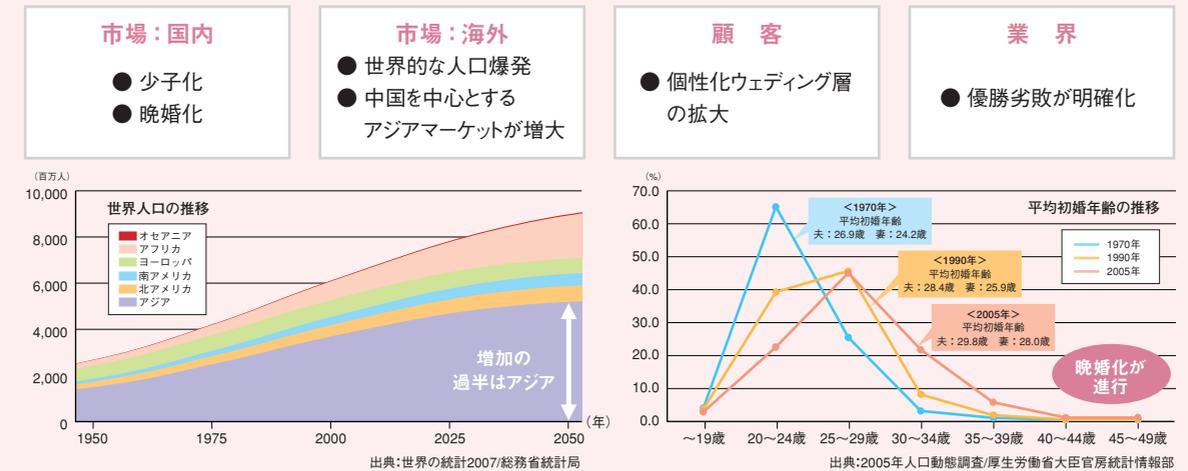
1. 全体目標 向こう3ヶ年で企業価値を向上させます



2. 当社をとりまく環境認識・当社のコアコンピタンスを踏まえた事業領域

事業環境とコアコンピタンスを踏まえ、4つの事業領域を定めました。国内外のデスティネーション挙式を機軸に展開する「海外ウェディンググローバル事業」、目黒雅叙園で培った婚礼を中心とした施設運営・再生ノウハウを活かした「国内ローカル挙式事業」、製造拠点を機軸とする「ドレス・映像事業」、上海における挙式事業を機軸とする「中国（上海）挙式事業」の4つにフォーカスし、コア事業として展開していきます。

環境認識



コアコンピタンスと4つの事業領域



当社グループでは、“世の中に貢献する”という企業の社会的責任を果たすために、結婚式の持つ平和産業としての事業特性を活かし、世界中ですてきな結婚式をつくとともに、本来業務領域の枠を越えた広範なCSR活動を展開することで、心豊かな社会創りと経済社会の安定に貢献しています。

3. 事業別成長戦略

4つの基本方針のもと、4つのコア事業に各々の成長戦略を展開し、経営目標であるROE15%の実現および経常利益率10%と売上500億円の早期達成を目指します。

1 海外ウェディンググローバル事業*

※自国内のリゾート挙式も含む

- 台湾・香港マーケット海外挙式事業
- 沖縄・京都リゾート挙式事業等

グローバルマーケットの開拓



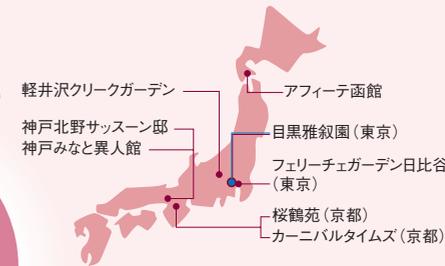
3 ドレス・映像事業

- ドレス販売事業
- デジタルフォトスタジオ事業等



2 国内ローカル挙式事業

- M&A戦略の実行
- 文化財活用スキームの展開等



- ホテル再生事業
- 文化財/歴史的建造物活用事業

4 中国(上海)挙式事業

- 上海ローカル挙式事業等



●基本方針●
収益力の改善
持たざる経営
ノンコア資産の活用
IT・社員教育を重視

1. 当社グループの考えるCSR

当社グループではCSR活動に対する考え方を、婚礼事業を中心とする企業活動を通じて心豊かな社会創りに貢献する『本来業務領域でのCSR』と、外部に向けた活動の柱として、国際協力・環境など社会貢献活動による『事業外領域でのCSR』として位置付けています。

また、それらCSR活動を、コーポレート・ガバナンス（企業統治）、コンプライアンス（法令遵守）、ディスクロージャー（情報開示）などの『企業の内部体制・体質の強化』が支えながら、事業活動の公正さをはじめ、経済・環境・社会面において、あらゆるステークホルダー（利害関係者）との持続可能な関係の構築と相互発展を目指します。

CSR (Corporate Social Responsibility)の略。企業が社会の構成員として果たすべき責任の意味

経営基本理念

わたくしたちの目的は、真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、すてきな生活文化を創造し、心豊かな社会の実現に貢献することにある。

企業の内部体制・体質の強化

コーポレート・ガバナンス（企業統治）、コンプライアンス（法令遵守）、ディスクロージャー（情報開示）など

本来業務領域

婚礼事業を中心とする
企業活動を通じた
心豊かな社会創り

事業外領域

国際協力・環境・社会貢献活動
を通じた、心豊かな社会創り
〔「女性」「子供」がキーワード〕

株主 顧客 行政 地域 取引先等

2. 水不足に悩むアジア・かわいた大地に命の水を! : ミャンマーでの生活用水供給活動

NPO法人「ブリッジエーシアジャパン」との協同事業として、水不足に苦しむ人々が暮らす地域に向けた生活用水供給のための「深井戸掘削・建設事業」を支援しています。平成19年2月、サポートの第一歩として、当社が寄贈した掘削機「ワタベ号」を用いた第一号の井戸がミャンマーのサンドウインジ村にて完成しました。

生活用水の確保は単に「井戸掘削＝水供給」ではなく、女性や子供の労働解放に繋がり、また、生産活動増加による生計向上や子供達の就学率向上、保健衛生面でも貢献できる事業として、「平和」や「未来」への投資であると考えています。



日本で生まれ、海外事業で育てていただいた当社が、また、女性が主役のブライダル業を営む当社が、世界中で困っている女性や、次の時代を支える子供達のために、「渴くアジアに命の水を!」というスローガンのもと、利益の社会還元を経営の根幹と位置付けて、積極的に継続して取り組んで参ります。



事業紹介

当社グループでは、国内・海外での挙式・披露宴のプロデュース、ウェディングドレス・タキシードの製造・販売やレンタル衣裳の提供、写真サービスや美容・ハネムーンの手配まで、ブライダルに関するさまざまな情報・サービス・商品をトータルに提案し、お客様の美しいかどでの日をサポートしています。

挙式関連

国内挙式サービス

日本最大級の総合挙式施設「目黒雅叙園」での和風モダンな挙式、沖縄・軽井沢・京都・北海道などでのリゾートウェディング、文化財を活用した挙式の提案まで、国内21ヶ所の自社運営挙式施設にてサービスを提供するとともに、ソフト面では生演奏による音楽挙式など新しい挙式スタイルの提案を展開。



目黒雅叙園



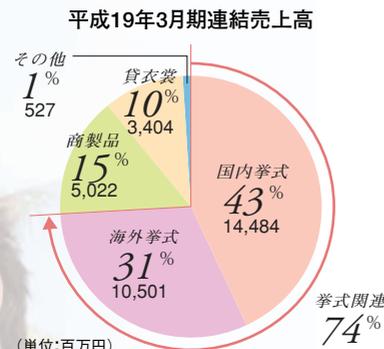
グアム ブルーアステール

海外挙式サービス

国内50店舗、海外16店舗のグローバルネットワークで海外17ヶ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。ハワイ、ミクロネシア、オセアニアでは現地パーティの需要増加を受け、レセプション会場を備えた挙式施設、独立レセプション会場を展開。「日本人を海外へ」から「海外の人を海外へ」、「海外の人を日本へ」と対象を拡大中。

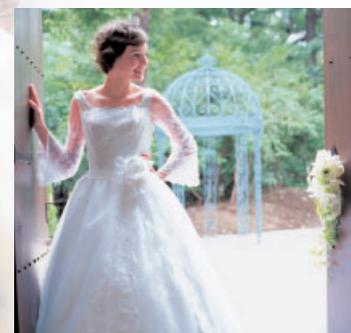


海外挙式における、自社会場の魅力向上施策による単価アップと、海外挙式で培ったノウハウを活かした国内リゾートウェディングの好調など、ひとつの分野に特化しないバランスのとれたビジネスモデルを構築することにより、国内・海外ともに売上が順調に推移。



国内挙式サービス、海外挙式サービス、商製品、貸衣裳事業とそれぞれの事業が収益の柱として機能するよう一層の改革を行い、バランスのとれた収益構造を確立。

商製品



オリジナルドレス「Avica」



ドレスファーストレンタル好調

「ひとりでも多くの花嫁に新しいドレスを着ていただきたい」そんな願いから誕生したドレスファーストレンタルは、お客様のご注文によってドレスを製作し、挙式される現地でお渡しするサービス。本サービスの導入により、レンタルから販売ドレスへ売上構造もシフト。

貸衣裳



スタジオフォトプラン「花嫁物語」

衣裳レンタル

和装中心の婚礼衣裳や列席者用衣裳等のレンタルサービスを提供。打掛、留袖、カラードレスはカタログでも予約でき、国内店舗では海外着用のウェディングドレスを試着、予約できるサービスを充実。

写真サービス

商品企画から上海工場でのアルバム製造までを完全内製化することにより、短納期、高品質を実現。国内店舗では、スタジオのデジタル化による高度な画像処理など、商品力を強化し、挙式日前後の婚礼写真撮影や、記念撮影を貸衣裳、美容・着付とセットにしたオリジナルフォトサービスをますます充実。

その他

国内店舗では、挙式者、列席者の国内・海外の旅行手配をはじめ、引出物やブライダル関連商品など、幅広い商品を斡旋。

トピックス

国内挙式事業を強化！ ローカル挙式事業を目黒雅叙園に統合

当社グループでは、国内挙式事業を「destination挙式」と「ローカル挙式」に区分し、ウェディングスタイルの特性に合わせた運営スキームを整備、国内挙式事業の再構築と更なる強化を図ります。なかでも飲料施設を伴う「ローカル挙式」施設に関しては、「目黒雅叙園」の運営スキームを積極的に活用・導入。平成19年5月から、当社直営の国内挙式7施設を株式会社目黒雅叙園へ事業譲渡（運営移管）することを決定。これにより、全10施設を擁する新生「目黒雅叙園グループ」が誕生しました。新しくグループ理念、CIロゴマークを制定し、施設運営を集中・特化することで、ノウハウの共有と施設運営の効率化を図ります。創業80周年を目前に控えた「目黒雅叙園」のブランド力を強化するとともに、今後も一層の成長戦略を描いていきます。

「福岡山の上ホテル」の運営事業で基本合意



平成19年3月、株式会社福岡キャピタルパートナーズ（ファンド運営会社）と協力し、民事再生手続中の「福岡山の上ホテル」の運営事業で独占交渉権を獲得し、同年4月、基本合意書を締結しました。同ホテルの早期再生による地域活性化と雇用創出に寄与することと併せ、九州地区における自社ネットワークの充実と、国内挙式事業の強化・拡大を図ります。抜群の眺望を誇る宴会場を有し、福岡市中心部に近い所に位置しながらリゾート感覚を持ち、博多湾を一望する魅力ある眺望など立地・ロケーションの魅力と、地元根差した歴史ある高級ホテルとしてのブランド力を評価。「目黒雅叙園」の運営ノウハウを最大限に活かし、宿泊特化型ではなく、婚礼・宴会事業を柱に業績を伸ばすことでホテル再生を図り、当社グループの持つ総合力との相乗効果を狙います。

営業店舗拡充： 再開発が進む大都市、新エリアで出店！

当社では、平成19年2月、愛知県に「名駅店」を、同年4月、大阪府に「心斎橋店」、栃木県に「宇都宮店」をそれぞれオープン。これまで営業店舗のなかった新エリア（栃木）だけでなく、大都市圏を中心に再開発の進む注目エリアに新規出店しました。

第44期の新規出店は約5店舗を予定しており、出店時期を期末から期初に集中して計画的に出店することで、期初からのフル稼働を図ります。



好調の沖縄リゾート挙式： 「コーラルヴィータ・チャペル」今秋オープン！

沖縄リゾート挙式は、年間6,000組を超え（7年間で実に約30倍に成長/沖縄観光コンベンションビューロー調べ）、平成18年度の当社取扱組数は約2,800組とほぼ半数を占めます。平成19年9月、「万座ビーチホテル&リゾート」内にオープンする「コーラルヴィータ・チャペル」は、ビーチの目の前に位置し、珊瑚の海を見渡す270度の大パノラマが広がる正統派独立型チャペルです。海と波と珊瑚に抱かれた“永遠に受け継がれる幸福”がコンセプト。リゾート感あふれる沖縄らしい赤い屋根、白い壁に高い尖塔が特徴です。



グローバル戦略： アジア市場への本格展開

当社グループでは、中国・上海市やオーストラリアなどローカル挙式市場の他、外国人の海外挙式という視点からも取組みを強化。香港・台湾市場からのグアム挙式は、既に年間100件以上の実績をあげています。

2006年12月末には、海外からの問い合わせ窓口として「英文版」「中文版」ホームページを設置し、本格的



なアジア展開をスタート。今後は、アジア地区での店舗展開を視野に入れながら、既存海外拠点への送客を推進します。2010年にはアジア市場を中心とした外国人向け挙式事業を、当社ビジネスの一翼を担う事業に成長させるべく強化して参ります。

インターネット戦略の強化： ホームページに新コンテンツ続々登場！

近年のIT化の促進にともない、当社のインターネットによる集客数は、前年の2倍を上回るペースで増加しています。当社ホームページも随時リニューアルを重ね魅力ある新企画を展開。平成18年度下期には、写真映像商品の専門サイトを新設したほか、ドレスの動画配信や人気投票&ランキングを開始。

また、国内外の挙式パンフレットをWEB上で確認できる「デジタルパンフレット」や、海外挙式の不安や疑問を解決するQ&Aコンテンツを新設しました。

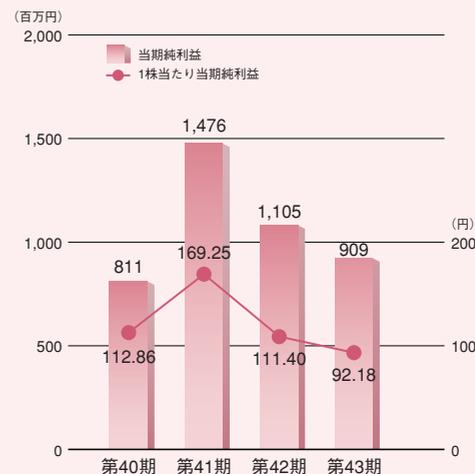


営業の概況(連結)

売上高/売上高経常利益率



当期純利益/1株当たり当期純利益



連結売上高 33,940百万円(前期比 8.9%増)
 連結経常利益 2,625百万円(前期比51.5%増)
 連結当期純利益 909百万円(前期比17.7%減)

当ブライダル業界は、少子化による婚姻組数の低下傾向に変わりはなく、お客様が求める挙式スタイルの変化に対応した商品の提案、サービスの向上等、業界内の競争はますます厳しくなっております。このような経営環境に対応するため、当社グループは、トータル・ブライダル・ソリューションの実現とグローバル展開により、個性化、多様化しているお客様のニーズにしっかりとお応えし、「お客様満足度の向上」・「感動の最大化」を図るべく積極的な事業展開を行って参りました。

平成19年3月期の歩み

- 4月 ●「目黒雅叙園」ブライズルーム等リニューアル
●「ドレスファーストレンタル」取扱い開始
●「秋田店」NEW OPEN
- 5月 ●沖縄「アクアグレイス・チャペル」NEW OPEN
- 7月 ●「高崎店」NEW OPEN
- 8月 ●「那覇店」移転・増床
●沖縄「エリスリーナ・チャペル」NEW OPEN
●「名古屋グランドプラザ」リニューアル
- 9月 ●オーストラリア
「サンクチュアリー・コブ・チャペル」リニューアル
●「ベトナム工場」稼働
●「松山店」NEW OPEN
- 10月 ●東京「ルミアモール」NEW OPEN
●東京「フェリーチェガーデン 日比谷」NEW OPEN
●スタジオフォトプラン
「&Baby」「Charm」取扱い開始
- 12月 ●ガム 「ブルーアステール」NEW OPEN
- 1月 ●「大阪グランドプラザ」リニューアル
●「名古屋栄店」リニューアル
- 2月 ●「名駅店」NEW OPEN

総資産/総資産経常利益率



株主資本/株主資本当期純利益率



国内挙式

当期開設した沖縄県読谷村の挙式とパーティー体型施設やベイサイドウェディングスタイルの提案として、東京都港区に都会型リゾート挙式施設を開業し、また、東京都の有形文化財に指定されている日比谷公園旧公園資料館を改修し、文化財を活用した挙式提案をしたことなどにより、挙式取扱い組数が増加しました。

店舗展開

群馬県高崎市に北関東エリア初進出となる「高崎店」を、愛媛県松山市に四国エリア初進出となる「松山店」をそれぞれオープンし、これまで直営店舗のなかった未進出エリアへ出店しました。また、名古屋グランドプラザの全面改装や名古屋地区3店舗目となる「名駅店」をオープンし、愛知近郊のお客様へのサービス体制も拡充しました。

海外挙式

オーストラリアの既存の挙式施設のリニューアルや、ガム島に当社初となる挙式とパーティー体型施設をタモン湾のビーチフロントにオープンしました。この結果、海外における自社運営施設は17会場となり、自社施設の利用が増加し、付加価値商品の販売も伸びたことで挙式単価が上昇し、売上増加に寄与しました。

商品開発

当期4月から、当社のドレスブランド「アヴィカ」を、挙式される地域で受け取ることができる新サービス「ドレスファーストレンタル」を開始し、順調に実績を積み上げ、ドレス販売着数が大きく増加しました。また、ベトナム工場が稼働し、中国の上海工場との2拠点体制の確立で、製品の安定供給能力の強化とリスクの分散化を図りました。

当期純利益の減少は、収益率の強化と経営効率の向上を目的として、一部の施設・店舗整理損及び固定資産について減損損失を計上したことによるものです。

財務諸表の概要(連結)

連結貸借対照表(単位:百万円)

| 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) |
|------------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 8,169 | 7,637 |
| 現金及び預金 | 5,152 | 5,039 |
| 売掛金 | 1,159 | 1,025 |
| たな卸資産 | 857 | 782 |
| 前払費用 | 487 | 422 |
| 未収入金 | 48 | 89 |
| 繰延税金資産 | 347 | 201 |
| その他 | 140 | 119 |
| 貸倒引当金 | △24 | △42 |
| 固定資産 | 15,315 | 14,527 |
| 有形固定資産 | 10,112 | 9,771 |
| 貸衣裳 | 146 | 235 |
| 1 建物及び構築物 | 6,580 | 5,899 |
| 器具備品 | 1,416 | 1,318 |
| 土地 | 1,730 | 1,730 |
| その他 | 239 | 588 |
| 無形固定資産 | 797 | 559 |
| 投資その他の資産 | 4,405 | 4,195 |
| 投資有価証券 | 337 | 302 |
| 長期前払費用 | 249 | 220 |
| 差入保証金 | 2,813 | 2,751 |
| 繰延税金資産 | 402 | 404 |
| 再評価に係る繰延税金資産 | 364 | 364 |
| その他 | 298 | 402 |
| 貸倒引当金 | △59 | △248 |
| 資産合計 | 23,485 | 22,164 |

point 1

沖縄や東京での国内における挙式施設や営業店舗の開設、ベトナムのドレス生産工場建設、グアムの挙式施設開設などの設備投資により、建物及び構築物が前期末に比べ680百万円増加しました。

| 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) |
|------------------------|----------------------|----------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 7,779 | 6,267 |
| 買掛金 | 1,745 | 1,301 |
| 短期借入金 | 136 | 137 |
| 1年内返済予定長期借入金 | 792 | 797 |
| 未払金 | 1,899 | 1,001 |
| 前受金 | 1,839 | 1,997 |
| 賞与引当金 | 336 | 259 |
| その他 | 1,029 | 772 |
| 2 固定負債 | 1,922 | 2,911 |
| 長期借入金 | 1,270 | 2,042 |
| 退職給付引当金 | 127 | 152 |
| その他 | 525 | 717 |
| 負債合計 | 9,701 | 9,178 |
| (少数株主持分) | — | 1 |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | — | 4,137 |
| 資本剰余金 | — | 3,999 |
| 利益剰余金 | — | 5,159 |
| 土地再評価差額金 | — | △524 |
| その他有価証券評価差額金 | — | 97 |
| 為替換算調整勘定 | — | 115 |
| 自己株式 | — | △0 |
| 資本合計 | — | 12,984 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | — | 22,164 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 13,989 | — |
| 資本金 | 4,159 | — |
| 資本剰余金 | 4,021 | — |
| 利益剰余金 | 5,809 | — |
| 自己株式 | △0 | — |
| 評価・換算差額等 | △207 | — |
| その他有価証券評価差額金 | 100 | — |
| 繰延ヘッジ損益 | 8 | — |
| 土地再評価差額金 | △524 | — |
| 為替換算調整勘定 | 207 | — |
| 少数株主持分 | 1 | — |
| 純資産合計 | 13,783 | — |
| 負債・純資産合計 | 23,485 | — |

point 2

長期借入金が減少し、固定負債が前期末に比べ989百万円減少しました。

連結損益計算書(単位:百万円)

| 科目 | 当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで) | 前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで) |
|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 3 売上高 | 33,940 | 31,177 |
| 売上原価 | 12,895 | 11,938 |
| 売上総利益 | 21,045 | 19,238 |
| 販売費及び一般管理費 | 18,485 | 17,531 |
| 営業利益 | 2,559 | 1,706 |
| 営業外収益 | 154 | 123 |
| 営業外費用 | 89 | 97 |
| 4 経常利益 | 2,625 | 1,732 |
| 特別利益 | 45 | 205 |
| 5 特別損失 | 912 | 64 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,757 | 1,873 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,005 | 876 |
| 法人税等調整額 | △157 | △106 |
| 少数株主損失 | 0 | 1 |
| 5 当期純利益 | 909 | 1,105 |

連結株主資本等変動計算書 当期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算差額等 | | | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|-------------------------------|-----------|-----------|------------|----------|------------|------------------|-------------|--------------|--------------|----------------|------------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 土地再評価 差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 平成18年3月31日 残高 | 4,137 | 3,999 | 5,159 | △0 | 13,296 | 97 | — | △524 | 115 | △311 | 1 | 12,985 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 新株の発行 | 21 | 21 | — | — | 43 | — | — | — | — | — | — | 43 |
| 剰余金の配当 | — | — | △246 | — | △246 | — | — | — | — | — | — | △246 |
| 役員賞与 | — | — | △12 | — | △12 | — | — | — | — | — | — | △12 |
| 当期純利益 | — | — | 909 | — | 909 | — | — | — | — | — | — | 909 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | — | — | — | — | — | 2 | 8 | — | 92 | 103 | △0 | 103 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 21 | 21 | 650 | — | 693 | 2 | 8 | — | 92 | 103 | △0 | 797 |
| 平成19年3月31日 残高 | 4,159 | 4,021 | 5,809 | △0 | 13,989 | 100 | 8 | △524 | 207 | △207 | 1 | 13,783 |

point 3

国内では沖縄や東京の挙式施設の新規開設により取扱い組数が増加、海外では当社の挙式施設利用率の上昇と挙式後のパーティの利用増などにより、国内挙式、海外挙式ともに増収となりました。また、ドレス販売の新サービス開始によりドレスの販売着数も増加し、売上高は前期比8.9%増となりました。

point 4

売上高の増加と販売費及び一般管理費の圧縮により、経常利益は前期比51.5%増加し、過去最高の2,625百万円となりました。

point 5

挙式施設及び店舗の整理損や減損損失の計上により特別損失が増加し、当期純利益は909百万円となりました。

財務諸表の概要(単体)

貸借対照表(単位:百万円)

| 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 4,246 | 4,348 |
| 現金及び預金 | 1,667 | 2,330 |
| 売掛金 | 958 | 773 |
| たな卸資産 | 234 | 287 |
| その他 | 1,430 | 972 |
| 貸倒引当金 | △43 | △15 |
| 固定資産 | 14,561 | 14,150 |
| 有形固定資産 | 7,530 | 8,065 |
| 貸衣裳 | 77 | 167 |
| 建物及び構築物 | 4,967 | 5,049 |
| 器具備品 | 714 | 746 |
| 土地 | 1,730 | 1,730 |
| その他 | 40 | 371 |
| 無形固定資産 | 627 | 485 |
| 投資その他の資産 | 6,403 | 5,600 |
| 投資有価証券 | 337 | 302 |
| 差入保証金 | 2,530 | 2,395 |
| その他 | 3,822 | 3,368 |
| 貸倒引当金 | △286 | △466 |
| 資産合計 | 18,808 | 18,499 |

損益計算書(単位:百万円)

| 科目 | 当期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで) | 前期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで) |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 売上高 | 23,947 | 21,202 |
| 売上原価 | 12,675 | 10,708 |
| 売上総利益 | 11,271 | 10,493 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,910 | 9,885 |
| 営業利益 | 1,361 | 608 |
| 営業外収益 | 464 | 319 |
| 営業外費用 | 66 | 47 |
| 1 経常利益 | 1,758 | 880 |
| 特別利益 | 11 | 204 |
| 特別損失 | 737 | 112 |
| 税引前当期純利益 | 1,032 | 972 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 524 | 403 |
| 法人税等調整額 | △209 | △27 |
| 当期純利益 | 718 | 595 |
| 前期繰越利益 | — | 594 |
| 合併による未処分利益受入額 | — | 17 |
| 中間配当額 | — | 117 |
| 当期末処分利益 | — | 1,089 |

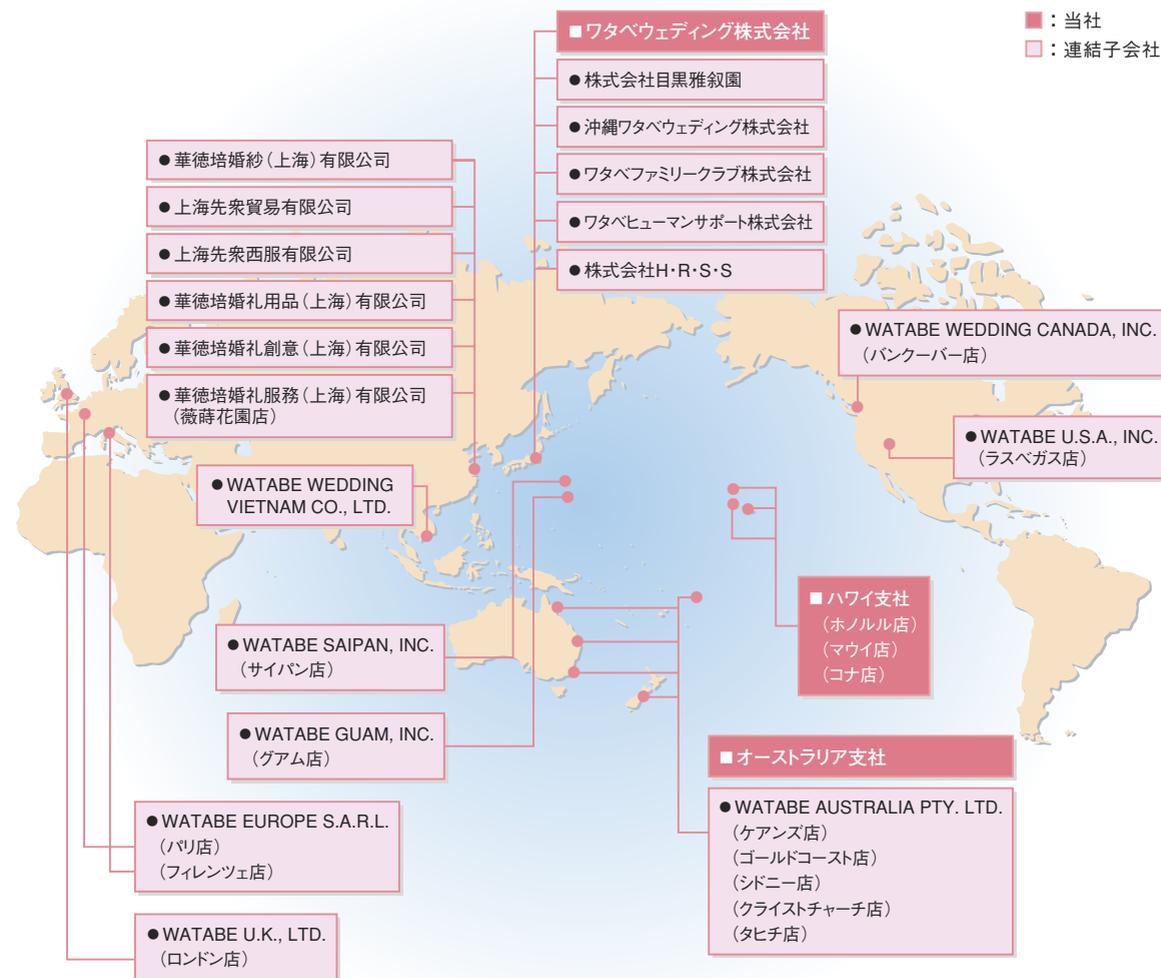
| 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 5,431 | 4,684 |
| 買掛金 | 1,520 | 1,274 |
| 1年内返済予定長期借入金 | 792 | 797 |
| 前受金 | 1,570 | 1,732 |
| その他 | 1,547 | 880 |
| 固定負債 | 1,589 | 2,541 |
| 長期借入金 | 1,270 | 2,042 |
| 退職給付引当金 | 15 | 41 |
| その他 | 303 | 457 |
| 負債合計 | 7,020 | 7,226 |
| (資本の部) | | |
| 資本金 | — | 4,137 |
| 資本剰余金 | — | 3,999 |
| 利益剰余金 | — | 3,563 |
| 土地再評価差額金 | — | △524 |
| 其他有価証券評価差額金 | — | 97 |
| 自己株式 | — | △0 |
| 資本合計 | — | 11,273 |
| 負債及び資本合計 | — | 18,499 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 12,203 | — |
| 資本金 | 4,159 | — |
| 資本剰余金 | 4,021 | — |
| 利益剰余金 | 4,023 | — |
| 自己株式 | △0 | — |
| 評価・換算差額等 | △415 | — |
| 純資産合計 | 11,787 | — |
| 負債・純資産合計 | 18,808 | — |

point 1

海外挙式、国内挙式、ドレス販売ともに好調に推移し、売上高は、前期比12.9%増となりました。また、販売費及び一般管理費の抑制により、経常利益が同99.7%増となりました。

グループ企業集団

当社グループは、当社(海外2支社)および連結子会社22社(国内6社、海外16社)で構成され、国内および海外挙式サービスを中心にブライダルに関する情報・サービス・商品をトータルにご提供することを主たる事業としております。



※国内子会社の株式会社アルケおよび海外子会社のPT. WATABE BALIは休業中のため上図には記載しておりません。
※イタリアの海外子会社は清算手続中のため上図には記載しておりません。

会社概要

(平成19年3月31日現在)

- 商号
ワタベウェディング株式会社
- 本店所在地
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地
- 設立
昭和39年10月3日
- 資本金
41億5,923万7,500円
- 従業員数 ※契約社員は含まれておりません
(単体) 435名 (連結) 1,664名
- 支社
ハワイ支社
オーストラリア支社
- 役員 (平成19年6月28日現在)
代表取締役社長 渡部 隆夫
常務取締役 島崎 昌彦
常務取締役 上田 勝己
取締役 川口 博司
取締役 渡部 秀敏
取締役 山本 弘也
取締役 市橋 一昭
取締役(社外) 平井 紀夫
常勤監査役(社外) 岩崎 久
監査役 藤本 壽雄
監査役(社外) 清水 久雄
監査役(社外) 工藤 雅史

株式情報

(平成19年3月31日現在)

株式の状況

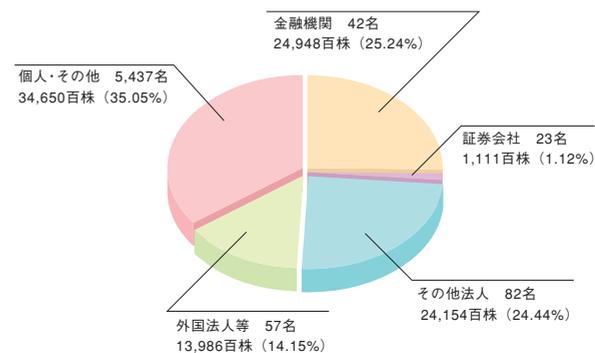
| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 22,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 9,884,900株 |
| 株主数 | 5,641名 |

大株主

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|--------------------------------|-----------|---------|
| | 持株数(株) | 出資比率(%) |
| 株式会社寿泉 | 2,005,400 | 20.28 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 634,600 | 6.41 |
| 日興シティ信託銀行株式会社 | 437,800 | 4.42 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 391,600 | 3.96 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505025 | 349,600 | 3.53 |
| 渡部 隆夫 | 300,600 | 3.04 |
| ワタベウェディング従業員持株会 | 253,900 | 2.56 |
| 有限会社シュー | 200,000 | 2.02 |
| 渡部 泰男 | 186,000 | 1.88 |
| 渡部 義夫 | 183,300 | 1.85 |

(注) 上記信託銀行の持株数は、すべて信託業務に係るものであります。

所有者別分布状況



株主インフォメーション

株主ご優待のお知らせ

当社では、株主の皆さまへの感謝の一環といたしまして、当社の商品にご利用いただけるご優待制度を設けております。

●対象株主様

平成19年3月31日現在の株主名簿に記載された、100株以上保有の株主様

●ご優待内容



1 3万円割引ご優待
(国内・海外直営宴会会場または販売オリジナルドレス)



2 貸衣裳
20%割引ご優待



3 スタジオフォトプラン
2万円割引ご優待

●有効期限

平成19年7月1日から平成20年6月30日までのご利用分に有効

(詳しいご優待内容につきましては、ご優待券をご確認ください)

ご案内

●配当金はお早めにお受け取りください

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は、平成19年7月31日までとなっております。郵便振替支払通知書をご持参の上、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

●お受け取り期間が過ぎてしまった場合

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。三菱UFJ信託銀行の本・支店窓口でお受け取りになるか、郵便振替支払通知書の裏面記載のお受け取り方法欄に必要事項をご記入の上、三菱UFJ信託銀行証券代行部までご郵送ください。

●郵便振替支払通知書を紛失された場合

三菱UFJ信託銀行証券代行部までご連絡ください。なお、支払の手續に時間を要しますので、あらかじめご了承ください。

●銀行振込指定のおすすめ

郵便振替支払通知書による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込によるお受け取り方法をおすすめします。詳しくは三菱UFJ信託銀行証券代行部までお問い合わせください。

(お問い合わせ先につきましては、裏面の株主メモをご参照下さい)

株主メモ

| | |
|----------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月中 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年9月30日 |
| 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 (お問い合わせ先) | 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777 |
| 同取次所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 |

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットで24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
TEL(075)352-4111(代) FAX(075)352-4139(代)

<http://www.watabe-wedding.co.jp>